



先輩が背中を押します 挑戦したい！けど、まだ迷っている君へ

私は、小・中学校ともに英語が1番好きな科目でした。いつか海外に行き、英語で話してみたいという気持ちがありました。その時、「広報つばめ」で海外派遣があるという記事を見つけて両親にすぐに相談し、念願だった海外（アメリカ）へ行くことになりました。派遣前は、初めての海外にとにかくワクワクしており、緊張や不安よりも期待が大きかったように思います。到着後、ホストファミリーに自己紹介をしたのですが、その時に相手の会話の半分は英語の無さを突き付けられました。それまで英語が得意だと思っていただけに、初日はショックのあまり泣いてしま

喜びと挫折 転機となった海外派遣

いました。外の世界を知らずにうぬぼれていたこと、そして自分の英語が全く通用しなかったことから、残りの日々を絶対に無駄にしたいと思い強く思いました。次の日からできるだけホストファミリーとたくさん話すことを心掛け、挫折の経験を糧にしました。そのときの、「日本語を忘れるくらいまで英語を話してやる」という気持ちは今でも忘れてはいけません。約2週間の滞在を終えるころにはかなりスピーキングとリスニングの力が付いたと思います。帰国してからは英語に対する意識が大きく変わりました。もっと英語を勉強して、いつか海外で働いてみたいという気持ちが生え、将来やりたいことがよりクリアになったように感じました。

やりたいことをやる 自信がなければ付けられない

もし皆さんが何か新しいことを始めたいと思っているのであれば、「まずやってみる」ということを大事にしてほしいです。新しい知識を得ることは、それが何であつても自分の糧となってくれます。もし自分に自信がなく挑戦することを迷っているのであれば、自信を付けるよう努力が必要です。私も「私は自分に自信があります！」と言える自分になれるよう努力をしています。自信があると「私ならできる」、「私なら大丈夫」といろいろなことに対して積極的に挑戦ができます。もしそこで失敗をしたとしても全て自分の大切な財産になります。皆さんも積極的にたくさんの方に挑戦してください。迷っているのであれば、やったほうが良い。迷っている時間がもつたいたいと思います。もし失敗したら、もしできなかったらと思うのであればそうなるから悩めばいいんです。

最後に、チャレンジすると決めた人、絶対に良い経験ができます。自分の未来を考えるきっかけにもなります。自分の未来がクリアになったとしたら次に自分ができることがすぐに見つかります。不可能なことなんてありません。全力で頑張ってください！

「やってみたい」から 「やりました」へ

たくさんの参加を待っています！



これまでの参加教室

- ・長善館学習塾・子ども記者
- ・英語スピーチコンテスト・J&B 教室



燕中等教育学校3年
長谷川 陽さん

同じ年度内に複数の事業に参加することは可能ですか？

陽さん 私の場合は「明日、J&B教室があるから宿題を終わらせておこう」など楽しみなことを目標に普段の勉強も頑張っていました。

慧さん 学校の勉強との両立もできません。スケジュールを考えながら通っていたので、学校の勉強にも支障はありませんでした。

たくさんさんの事業を経験して、成長したと感ずる点がありますか？

陽さん 初対面の人とでも話す力、物事を続ける力が身に付きました。中学生になってから新しい友達ができたり、行事などに積極的に参加したりすることができたのは、たくさんさんの事業に参加していたおかげです。

慧さん 別の学校の人も関わられるので、話すことが好きになり、コミュニケーション能力が高まったと感じています。



燕北小6年
長谷川 慧さん

- ・英検チャレンジ教室・子ども記者
- ・英語スピーチコンテスト・J&B 教室

これから参加を考えている人や迷っている人へメッセージをお願いします。

陽さん どの事業も最高に楽しいですよ！私は「子ども記者」や「長善館学習塾」は1人で参加しました。なので最初は本当に不安だったのですが、私と同じように1人で参加している人も多く、その話題で盛り上がりつつ仲良くなりました。市の事業に参加することは、学校だけでは学べないことをたくさん教えてくれます。きっと自分への自信につながるのではないのでしょうか。ぜひ参加してみてください。

慧さん 市の事業に参加したことによって、日ごろの生活に役立つことがあります。実際に「子ども記者」での体験は、小学校での新聞づくりで生かすことができました。そして何よりとても楽しいです。初めて経験することや季節の行事やイベントがあり、楽しみながら学ぶことができますよ。

これまでの参加教室

「つばめ長善プロジェクト」がさらに進化！

つばめ長善プロジェクトは、子どもたちの「参加したい」「参加しやすい」を実現するプロジェクトです。

●ここがポイント①

事業内容や回数、それぞれの活動日時を見直し、より広く選択・決定ができるようになりました。資質・能力を伸ばすために子どもたちのニーズに合った活動を展開します。

●ここがポイント②

「人・もの・こと」との関わりに焦点を当て、子どもたちの自信ややる気を高めます。活動での体験を通して、生きる力や学びに向かう原動力を育みます。

●「長善」ってなに？

「長善」とは燕が誇る先人の学び舎、「私塾・長善館」に由来しています。長善館が時代を牽引した優れた塾生たちを輩出したように、革新的・実践的な事業を行っていきます。

3月1日 月曜日